

地球惑星科学委員会IUGS分科会（第25期・第8回） 議事要旨

日時 令和4年10月18日（火）17:00～18:30

会場 遠隔会議（ZOOM）

座長：西弘嗣（委員長）

参加者：益田晴恵、大久保泰邦、堀利栄、佃栄吉、奥村晃史、谷口直人、木村学、中田節也、北里洋、日本学術会議事務局、西 弘嗣

欠席：齋藤文紀、沖野響子、掛川武

小委員会：松岡篤、田上高広、石山達也、生形貴男（遠藤代理）

（オブザーバー：Simon Wallis、岡田誠、磯崎行雄、井龍康文（以上、地質学会）、河野武、小平秀一（以上、JAMSTEC）、中尾信典、中澤努、石塚吉浩（以上、産業技術総合研究所）、高橋幸宏（日本地球惑星科学連合）

4 議題等

（1） 韓国IGC巡検に関する問題について

●最初にサイモン氏より、最終となった7月29日の会議の経過と9月8日に韓国側から送られてきた最終的な回答の説明があった。この回答を受けて、地質学会、JAMSTEC、産総研がIGCに対するサポートレターの取り消しを行ったことが報告された。この取り消しの通知に対する返答は現在に至るまで行われていない。IUGSの会長にも通知を同時に送っていたので、IUGS執行部の役員はこの回答を承知していることが確認された。

●その後、文部科学省、外務省にも連絡（磯崎氏）および学術会議にも経由を説明する文書を送った（西）ことも報告された。

●今後の展開としては、地質学会は経過の説明をHP等で通知する予定であることが報告された。また、地質学会では会員に対しても同様に説明を行い、協力等の要請があった場合には慎重に判断するように、注意喚起を行う予定であると同時に報告された。

●地質学会の通知後に、他の関係機関も何らかの通知等を出す予定を考えている。

●国外に対しても何らかのアクションを起こすべきであるが、今回のようなことが起こらないような大会開催のシステムが必要である、開催国の政治的プロパガンダの場にならないようにしてもらいたいなど、IUGSに対しても前向きな提案をすることが必要であるという意見も出され

た. IGC の時に開催される IUGS 総会における動議提案など発言等も考える方がよいとの意見も出された.